

「先從隗始」の精神で

Topics

- 1 センター長よりメッセージ:
「先從隗始」の精神で
- 2 群馬大学 1 日体験 DAY
グローバルカフェ
- 3 2017 年度 キール大学
英語研修プログラム
- 4 群馬大学サマー・プログラ
ム 2017
- 5 2017 群馬ちびっこ大学
ブース出展報告
- 6 GUGL English Café
(Kiryu Campus)
- 7 (お知らせ)2018 年春の
英語研修プログラム

「先ず隗より始めよ」— 遠大な計画もまずは手近なところから、今年度国際センターでは、センターが位置する荒牧キャンパスの国際化を重点的に進めています。多文化共生の進む群馬で学ぶ学生たちには、初年次の時点でこれからのダイバーシティ社会で生き抜く「国際協働」精神の基礎を身につけて欲しい。そのためには、授業での学びや留学はもちろんのこと、キャンパスで体験する「疑似留学」など、身近な国際交流の機会を増やしていく必要があります。

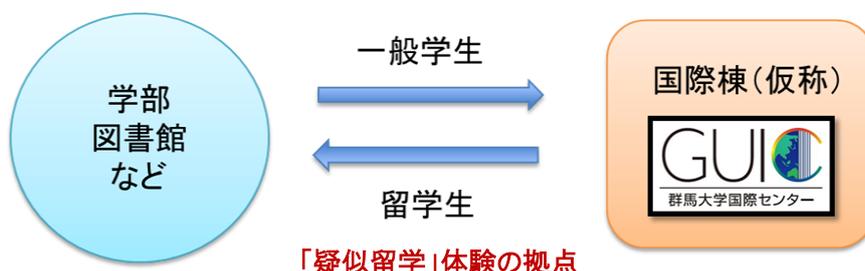
この 11 月末より大学会館の一角、現在国際センターのある建物は「国際棟」(仮称)となり、ゾーンごとに利用目的が異なる空間で、群馬大学の国際交流拠点にふさわしい様々な企画を実施します。特に、2 階の学修・交流ゾーンには GUGL (Gunma University Global Lounge)がオープンし、グローバル・カフェ、イングリッシュ・カフェ、講演会、セミナー、映画鑑賞会、食文化フェアなどで「文化の交錯」を体感・体験できる予定です。学生や教職員の皆様に気軽に足を運んでいただけるオープンな空間作りを目指しています。GUGL 活用の企画もぜひ国際センターまでお寄せください。

国際センター長 末松美知子

建物内のゾーニング



オンキャンパス(学内)学生の交流の活発化



群馬大学 1 日体験 DAY グローバル・カフェ

7月9日(日)に群馬大学 1 日体験 DAY が行われました。国際センターでは、荒牧キャンパス中央図書館のアゴラスペースを利用して、「グローバル・カフェ：群馬大学の留学生と話そう」、「イングリッシュ・カフェ：英語で話そう」、「留学報告会：先輩の留学体験を聞こう」の3つのプログラムを実施しました。3つのプログラムの参加者は56名でした。



マレーシア留学生の説明に熱心に聞き入る高校生のみなさん

中でも「グローバル・カフェ」の時間帯には、27名と想像以上に多くの高校生や保護者の皆さんがプログラムに参加され、高校生やその保護者の方々の大学の国際化、国際交流への興味関心の強さがうかがわれました。プログラム実施協力者の留学生は群馬大学理工学部1年のマレーシア留学生7名で、母国マレーシアの文化や群馬大学での生活などについて簡単な英語と日本語を交えて紹介しました。参加した高校生からはマレーシアの多文化社会に関する質問などもあり、相互に意見交換をすることもできました。プログラム実施後のアンケートでは「マレーシアの文化を知ることができた・行きたいと思った」「群馬大学に多くの留学生がいることに驚いた・とても国際的な大学だと思った」など、積極的な評価を多くいただきました。留学生にとっても日本の高校生と交流するとてもよい機会となったようです。

国際センター講師 園田智子

2017 年度 キール大学英語研修 プログラム

夏季休業期間を利用し、イギリス・キール大学にて3回目となる英語研修プログラムが実施され、17名(社会情報学部2名、理工学部15名)が参加しました。キール大学は、「英国で最も美しい大学」トップ10に選ばれたこともある伝統校です。本研修は、広大な森や湖も有するキャンパスにおいて、英語学習や各種活動、大学寮での生活とホームステイを体験するという1ヶ月です。また、本学学生のニーズに合わせてアレンジされる研修でもあります。過去2回の研修では、キャンパス外での見学や体験活動を London、Liverpool、Birmingham 等の大都市や観光地において実施してきました。



期間は約1ヶ月(8/28~9/23)

研修内容は、英語学習、リサーチプロジェクトワーク、Blog作成、陶磁器製作見学、Conwy Castle 見学、Llandudno 見学、Chester Zoo 訪問等でした。

今回の研修では、イギリスの治安状況を鑑み、都市部を避け、歴史ある地方都市や城郭都市にて各種活動を行いました。『不思議の国のアリス』所縁の地である北ウェールズの沿岸都市や世界的な規模で知られる動物園等を訪れ、緑豊かな中で、近代都市とはまた異なった趣も感じられる活動としました。従来の研修内容から大きく変更しての実施となりましたが、「物語の中の風景を実際に見られた」「もっと英語を勉強しておけばよかった」といった声が寄せられ、イギリスの歴史や文化の奥深さに触れる機会であるとともに、英語学習への意欲を高め、海外へ目を向ける大きな一歩となったようです。

国際センター講師 船橋瑞貴

群馬大学サマー・プログラム 2017

7月10日～21日の11日間、群馬大学サマー・プログラムを実施し、中国、台湾、インドネシア、モンゴルからの10名（協定校7名、学内3名）が参加しました。

日本人学生に聞き取り調査をして発表する日本語インタビュー・プロジェクトや、各学部の先生方による日本事情講義のほか、茶道、日本画、華道、邦楽などの伝統文化も各専門家から実践的に学びました。参加者たちはどの授業にも興味を持って積極的に参加していました。

プログラムは、荒牧キャンパスをメインに行われましたが、歌舞伎鑑賞、伊香保への温泉旅行や桐生散策など、学外へも足を伸ばしました。伊香保では旅館や温泉を体験し、桐生では、明治時代から残る日本家屋の縁側で浴衣でポーズを決めてみたり、畳の上で寝転んでみたりと日本文化を体感する時間となりました。また、放課後や週末も、バディの日本人学生と一緒にかき氷を食べに行ったり、花火を見に行ったりと、11日間という短い期間ではありましたが、思い思いに日本の夏を満喫したようです。

プログラム修了時のアンケートでも高い満足度を得ていたことがわかりましたが、来年度以降のプログラムでは問題と考えられる点を修正し、より良いプログラムにしていきたいと考えています。

国際センター准教授 牧原功



桐生の日本家屋で浴衣体験



日本画の授業「墨絵に挑戦！」

2017 群馬ちびっこ大学ブース出展報告

第13回群馬大学主催子供体験教室「2017 群馬ちびっこ大学」に、8月10日、11日の2日間にわたり、ブースを出展しました。

国際センター初の参加となった今回は、楽しみながら外国語でのコミュニケーション機会を提供する「中国語でコマをつくろう！」と題したブースを出展しました。ブースの運営は、群馬大学中国人留学生会の全面的な協力を得て行われました。

ブースを訪れたちびっこたちは、留学生と「ニーハオ！（こんにちは！）」や「チャーシーシェンマ？（これなあに？）」など、中国語でのやり取りをしながら、CDやビー玉など、コマの材料を一つずつ手に入れていきました。材料がすべてそろそろと、シールやペンなどで思い思いにデコレーションを施し、オリジナルのコマを完成させました。

会場は大変な賑わいで、「中国語でコマをつくろう！」ブースでも開場直後から閉場まで行列が途切れることなく、2日間で600名近くのちびっこたちが遊びに来てくれました。この体験が外国語や異文化への興味を持つきっかけへとつながることを願っています。

国際センター講師 大和啓子



「中国語でコマを作ろう！」
群馬大学中国人留学生会の学生達

GUGL English Café (Kiryu Campus)

Free English Conversation Sessions for GU Students

Spring 2017 and the beginning of a new school year at Gunma University (GU) also saw the launch of a new *GUGL English Café at the Kiryu campus library.



2016年10月にスタートした English Café。好評につき、2017年4月から理工学図書館 Ricomo(桐生地区)でも実施することになりました。週2回(火・水)、英語のレベルに関わらず、誰でも自由に参加できますので、気軽に立ち寄ってください。

Thanks to a successful start in Fall 2016 and the positive feedback received from GU students, teachers and Aramaki campus library staff, a similar project was also created at the Kiryu campus library. So far, this new project has helped to provide 2nd year students with a sense of continuity after attending the GUGL English Café at the Aramaki campus; while at the same time, presenting all students with the opportunity to enjoy free English conversation sessions at the Kiryu campus.

Offered twice a week (Tuesdays & Wednesdays from October 2017), the one-hour, free English conversation sessions facilitated by one of GU's English language professors, is very popular and well-attended by enthusiastic students keen on practicing their English conversation skills. Open to all Kiryu campus students, the English Café attracts both local and international GU students of all grades and levels of English language ability.

Whether students visit the GUGL English Café to practice, maintain or brush-up their English conversation skills before or after returning from study abroad, or to simply enjoy using English in the company of friends and peers, the GUGL English Café provides everyone with a chance to use English in a casual, lively and enjoyable space.

We look forward to seeing you at the GUGL English Café!

国際センター講師 Sylvain Bergeron



ウーロンゴン大学英語研修プログラム
渡航期間: 2018年2月24日～
3月25日(約4週間)

募集人数: 20名
参加費用: 33～36万円の予定
(渡航費、学費、宿泊費を含む)



サンディエゴ州立大学英語研修プログラム
渡航期間: 2018年2月25日～
3月26日(約4週間)

募集人数: 20名
参加費用: 40～43万円の予定
(渡航費、学費、宿泊費を含む)

お知らせ

2018年春の英語研修プログラム

オーストラリア・ウーロンゴン大学英語研修プログラム(UOWC)と米国サンディエゴ州立大学英語研修プログラム(SDSU)の募集が始まりました。締切は11月10日(金)です。

- 参加費用は概算です。この金額の他に渡航先での生活費や保険料、国内移動費が必要になります。
- 一定条件をもとに群馬大学基金から奨学金が支給される場合があります。UOWCでは7万円、SDSUでは8万円。詳細については、国際課に尋ねてください。
- 両プログラムとも最少催行人数は10名です。
- 教養教育科目「選択英語」2単位が認定される予定です。

国際センター准教授 野田岳人